

諏訪のいろはかるた (14)

全国各地に存在する郷土かるた。多くは絶版となり現在では入手が困難です。ふるさとの財産「諏訪いろはかるた（信濃文化研究会作成）」に詠われたかるたを紹介します。



絵詞を著し遺す小坂円忠

～郷土かるたで故郷発見～
 小坂円忠であった。小坂円忠は、大熊氏・真志野氏・有賀氏とともに西方四郷の有力な氏族で、神氏の分れであった。そのころ鎌倉幕府では、諏訪武士が多く参加したが、円忠は幕府の政務を担当した文官であった。建武中興の政府が成立すると、円忠は鎌倉時代の手腕に認められて、雑訴決断所の寄人になり、室町幕府のとき奉行に任命された。円忠の遺した事業のうちもつとも輝かしいのは、「諏訪大明神絵詞」で延文元年（一三五八）、十九年の歳月を費やして綴起五巻・祭七巻計十二巻を完成した。しかしその原本は現存していない。ただ詞書きだけが貴重な写本となって残っているのみである。



地デジの準備お急ぎください!!

アナログ放送終了まで、あと1ヶ月です!

地デジの準備どうすれば良いの? お困りの皆様に対して お家で「地デジ」相談します!



無料
 地デジを受信するにはどうすれば良いのかわからないなど、地デジ受信でお困りの皆様に対して、デジサポ長野では、お家を訪問して、アンテナなどを確認しながら無料で地デジの受信・視聴方法をアドバイスいたします。
 アナログ放送終了間際には、相談件数の増加により、速やかに訪問できない場合もありますので、早めに下記デジサポ長野にお問い合わせ下さい。

デジサポ長野
 (総務省 長野県テレビ受信者支援センター)
TEL 026-233-5501
 [受付時間]
 平日：9時～21時 土・日・祝日：9時～18時

今月のおすすめ本

町図書館から

おしまいのデート
 集英社



一口にデートと言っても本当にいろいろあるもので、その相手は「恋人」だけとは限らない。離婚した父方の祖父と中学生の孫、ほとんど話したことがない同じクラスの男子生徒同士、定年間際の老教師と不良生徒、捨て犬を見つけてしまったOLと大学生、保育士と手のかかる園児とその父親、5つのデートが語られています。待ち合わせまでのドキドキ感、終わった後の切なさ、淡々と描かれています。どこか暖かい心の交流がほつとする一冊です。

まつり
 講談社



「村の夕まぐれ、太鼓の音が、響き渡り、次々と屋台の提灯に火が入る。」伝説守り、木と神々と共に暮らしている人々の生き生きとした姿、鎮守の森の秋の情景が美しく描かれています。「ルリユールおじさん」のソフィーが大人になり、「大きな木のような人」に登場し「大きな…」の続編としてこの絵本につながっていきます。時間の流れを感じながら、この3冊を手にしていただくと、よりの楽しさを感じていただけると思います。
 (平出みちよ)



万治のお鼻って大きいね。



きれいなお花。なんだろう?



町の花 つつじ 満開



7	日	月	火	水	木	金	土
	6	祭	2	1			
	8	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	25	26	27	28	29	30	

7月の暦 柴舟作り
 藤原 三郎 作



下諏訪消防署 救助訓練



出水期に備え 土のう作り 水防訓練

